

科目名	情報社会論		担当者名	石松健男(イシマツタケオ)	
開講年次	2	開講時期	後期	クラス	
授業形態	講義	履修方法	選択	単位数	2
ナンバリング	D3030	該当DP	DP1,DP4	実務経験	ソフト開発会社勤務
授業概要	<p>私たちは今、情報を「だれでも・いつでも・どこでも・なんでも」自由に送ったり受け取ったりすることができる、情報社会(ウェブ社会)とよばれるとても便利な環境の中で生活している。これはこの半世紀、半導体などのハードウェア技術・プログラム言語などのソフトウェア技術・情報通信技術が急速に発展したためである。コンピュータが発明されてからおおよそ80年の間に情報通信技術(ICT)の研究・開発が進み、情報は電気や水と同じように私たちの日常生活になくてはならないものになってしまっている。しかし反面ネットワークを使って情報を送ったり受け取ったりすることは大きなリスクをとまうようになってきており、私たちが情報を正しくとりあつかう方法や技術を身につけることが、安心してよりよい生活を送っていくための大切な条件になってきている。本講座では情報社会に生きていくために、情報の歴史、特長、情報に接するために必要なこと(情報リテラシー)、情報を伝える道具であるスマホなどのメディア、インターネット、その環境下にあるウェブ社会などについて学ぶ。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 情報の機能や役割について理解し、その便利さやリスク、情報格差など情報社会のもつ良い面、悪い面、そして私たちが日常利用しているいろいろな情報システムのしくみなどについて理解できるようになる。 インターネット環境下でのウェブ社会のしくみを理解し、今後の生活に役立てることができるようになる。 				
授業計画	回	授業内容	授業外学習(内容と時間)		
	1	情報とは(ガイダンス)	復習	60分	
	2	情報の役割と特長	課題①	60分	
	3	現代社会と情報社会	復習	30分	
	4	情報社会と情報処理	復習	60分	
	5	産業社会から情報社会へ	課題②	60分	
	6	産業社会の情報化の変遷	復習	30分	
	7	メディアとは	復習	60分	
	8	メディア形態の変遷	課題③	60分	
	9	メディアについての研究	復習	30分	
	10	マルチメディア	復習	60分	
	11	メディアとしてのインターネット	課題④	60分	
	12	情報革命とウェブ社会	復習	30分	
	13	ウェブ社会とビジネス	復習	60分	
	14	ウェブ2.0の社会	課題⑤	30分	
	15	これからの情報社会(まとめ)	全体の復習	60分	
教科書	「情報社会論2024」テキスト(石松健男著・学内販売のみ)				
参考書	「情報社会の構造」犬塚先 東京大学出版会 「情報社会論」加納寛子 北大路書房 「ウェブ進化論」梅田望夫 ちくま新書 「デジタル空間とどう向き合うか」鳥海不二夫・山本龍彦 日経BP				
成績評価	方法	割合	備考		
	定期試験	80%			
	課題(宿題・翌週提出)	20%	説明した内容について課題として出題する。採点し解答例とともに返却する。		
	欠席・遅刻・早退		欠席は回数に応じて減点する。		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 教室では決められた席に座ること。 理解状況を確認するため適時課題を出す。課題の採点結果は解答例とともにまとめて返却する。 授業中の携帯電話操作、私語を禁じる。 				
オフィスアワー	火曜日・他にも在室時は可		メールアドレス	isimatu@orioaishin.ac.jp	